ニンジン末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は淡黄白色～淡黄褐色を呈し，特異なにおいがあり，味は初めわずかに甘く，後にやや苦い.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，でんぷん粒，ときに糊化したでんぷんを含むほぼ円形～長方形の柔細胞からなる組織片，網紋道管の破片，径 15～40μm の階紋道管及びらせん紋道管，黄色の光輝ある塊状の内容物を含む分泌細胞及び径 20～60μm のシュウ酸カルシウムの集晶を認める. その他, 厚壁細胞, 細胞壁の薄いコルク細胞及び径 1～5μm, まれに 30μm に達するシュウ酸カルシウムの単晶を認める．でんぷん粒は単粒及び 2～6 個からなる複粒で，単粒の径は 3～20μm である.